

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2007-535710(P2007-535710A)

【公表日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2007-510951(P2007-510951)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 3 1 H

G 0 9 G 3/20 6 3 1 K

G 0 9 G 3/20 6 3 1 V

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 9 G 3/20 6 4 2 J

G 0 9 G 3/20 6 6 0 P

G 0 9 G 3/20 6 6 0 N

G 0 9 G 3/20 6 3 2 F

G 0 2 F 1/133 5 1 0

G 0 2 F 1/133 5 5 0

H 0 4 N 5/66 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月28日(2007.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の実質的に赤（R）、緑（G）、および青（B）の画素をその中に有し、各画素が励起に応答して様々な量の R、G、および B 光を各画素から放出させるために様々な大きさの励起を受け取るようになされた C L C D（22）を備え、前記 C L C D（22）が前記画素の励起情報を受け取るための入力部を含み、

前記励起情報を前記 C L C D（22）に供給するために、前記 C L C D（22）の前記入力部に結合された出力部を有するプロセッサ（70）を備え、前記プロセッサ（70）は、前記 C L C D（22）によって表示されるべき文字の文字画素マップを定義する少なくとも 1 つの文字コードと、前記文字が前記 C L C D（22）によって表示されるべき色を部分的に決定する空間シェーディング色マップを定義する少なくとも 1 つの色コードとを受け取るように構成され、前記プロセッサ（70）は、前記 C L C D（22）の画素のために前記空間シェーディング色マップと前記文字画素マップとを混合して空間シェーディングとグレーレベル混合を両方組み入れた複合画素マップを生成するとともに、前記複合画素マップの少なくとも一部分を基にして、前記励起情報を前記 C L C D（22）に供給するように動作可能であるプロセッサ（70）とを備える、

カラー液晶ディスプレイ（ＣＬＣＤ）システム（２２）。

【請求項２】

表示されるべき文字を定義する文字コードと所定の色を定義する色コードとを受け取るステップと、

前記文字コードから文字画素パターンを決定するとともに前記色コードから空間的色画素パターンを決定するステップと、

前記文字画素パターンと前記空間的画素パターンとを混合して、少なくとも表示されるべき前記文字の画素パターン輪郭部内の各画素に対する混合画素値を有する複合画素パターンを生成するステップと、

前記混合画素値の少なくとも一部分を基にして、各画素に対する赤（Ｒ）、緑（Ｇ）、および青（Ｂ）画素駆動値を決定するステップと、

前記画素駆動値を前記ＣＬＣＤ（２２）の前記画素に送るステップと、
を含む文字を所定の色で表示するようにカラー液晶ディスプレイ（ＣＬＣＤ）（２２）の画素を駆動する方法。